



# 神小たより

ホームページアドレス <http://kamiyama-es.agano.ed.jp/>

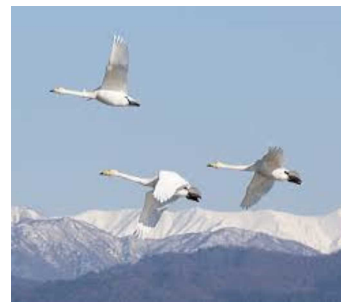
阿賀野市立神山小学校  
学校だより 12月号  
保護者・地域版  
H28. 12. 12



**「2学期も無事、教育活動を展開することができました。  
保護者・地域の皆様のご協力、誠にありがとうございました。」**

校長 鈴木 正彦

阿賀野市の冬の風物詩である瓢湖の白鳥。今年も多くの白鳥が飛来する季節となりました。平成に入ってから、1年間に約6千羽が飛来しているそうです。そんな瓢湖は白鳥の飛来地として全国的に有名です。瓢湖は平成20年10月、ラムサール条約（水鳥の飛来地や生息地として重要な湿地を、国境を越えて保護するための条約）登録湿地に指定され、阿賀野市にとって後世に残さなければならない国際的な財産となっています。



ところで、国際的な財産となっている瓢湖ですが、それは一朝一夕になったわけではありません。昭和25年2月に瓢湖湖畔に住む吉川重三郎さんが、献身的な愛情を注ぎ餌付けを試み、昭和29年2月に初めて野生の白鳥への餌付けに成功しました。以来多くの方々の瓢湖や白鳥に対する深い愛情とたくさんの努力があって、瓢湖は現在の白鳥の飛来地となりました。こんなすばらしい瓢湖がある自然豊かな阿賀野市に住んでいることを、心から幸せに思います。

さて、2学期も残すところ、あと約2週間となりました。瓢湖が現在の姿になるまでに、多くの人々の支えがあったように、学校行事をはじめとする様々な教育活動の実施に当たり、陰になり日向になり多くの保護者・地域の皆様から支えていただきました。支えていただいた教育活動は挙げればきりがありませんが、特に大きな行事としては、五頭登山やマラソン大会が挙げられます。これらの行事は学校の敷地外で行われ、実施に当たっては、子どもたちの安全確保が最優先課題となります。これに対し、多くの保護者・地域の皆様、関係機関の皆様が引率や監視ボランティアに当たっていただき、無事終了することができました。その支えがあったからこそ、子どもたちは安心して個々の力を思う存分発揮し、同級生や他学年の友達とも協力して、1つ1つの活動を成し遂げることができました。



**保護者・地域の皆様、関係機関の方々**

本当にありがとうございました。心より感謝いたします。

来年2017年は酉（トリ）年です。「酉」の由来は、「果実が極限まで熟した状態・酒熟して気の漏れる状態」というもので、そこに漢字と音が似ていて身近な動物の一つである、「酉（トリ）」の漢字をあてたものだそうです。「果実が極限まで熟した状態」というところから、「物事が頂点まで極まった状態」が「酉（トリ）」年だと言われています。また、十二支（じゅうにし）の考え方では、「酉（トリ）」のつく年は商売繁盛にも繋がると考えられています。

来年は、習い事や学習、運動などでもよい成果が得られるかもしれません。ぜひ、新年の誓いをしっかりと立てたいものです。

冬休み明けの1月10日（火）には、神山小学校104名の元気な笑顔を待っています。それでは皆様、よいお年をお迎えください。